

平成 2 9 年

目 黒 区 教 育 委 員 会

第 2 2 回 定 例 会 会 議 録

(平成 2 9 年 6 月 1 3 日開催)

## 第22回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年6月13日

開催場所 教育委員会室

|      |               |        |
|------|---------------|--------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長      | 尾崎 富雄  |
|      | 教育委員会教育長職務代行者 | 中山 ひとみ |
|      | 教育委員会委員       | 木村 肇   |
|      | 教育委員会委員       | 笹尾 敦夫  |
|      | 教育委員会委員       | 後藤 幸子  |

|      |          |        |
|------|----------|--------|
| 出席職員 | 教育次長     | 野口 晃   |
|      | 教育政策課長   | 山野井 司  |
|      | 学校統合推進課長 | 増田 武   |
|      | 学校運営課長   | 村上 隆章  |
|      | 学校施設計画課長 | 照井 美奈子 |
|      | 教育指導課長   | 田中 浩   |
|      | 教育支援課長   | 酒井 宏   |
|      | 統括指導主事   | 寺尾 千英  |
|      | 統括指導主事   | 古舘 秀樹  |
|      | 生涯学習課長   | 馬場 和昭  |
|      | 八雲中央図書館長 | 石松 千明  |

|    |        |
|----|--------|
| 書記 | 小野塚 幸隆 |
|    | 山東 隆博  |

(議事日程)

|       |      |                                |
|-------|------|--------------------------------|
| 日程第 1 | 報告事項 | 平成 2 9 年第 2 回区議会定例会一般質問通告について  |
| 日程第 2 | 報告事項 | 平成 2 9 年度児童生徒数・学級数について         |
| 日程第 3 | 報告事項 | 目黒区立中学校発足 7 0 周年記念式典（案）について    |
| 日程第 4 | 報告事項 | I C T 教育推進計画検討委員会における検討状況について  |
| 日程第 5 | 報告事項 | 平成 2 8 年度目黒区立学校における不登校の状況について  |
| 日程第 6 | 報告事項 | 平成 2 8 年度放課後フリークラブの実施結果について    |
| 日程第 7 | 報告事項 | 平成 2 9 年度青少年健全育成事業（国内交流事業）について |
| 日程第 8 | 報告事項 | 目黒区緑が丘文化会館研修室等の一部臨時休室について      |
| 日程第 9 | 報告事項 | 教育委員会名義の使用承認状況について             |

資料配布

- ・学校統合推進課だより（南部・西部地区版）N o . 1 8

(午前9時30分開会)

- 教育長        第22回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は木村委員です。
- ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長        それでは、傍聴を許可することといたします。
- なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。
- それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1        平成29年第2回区議会定例会一般質問通告について(報告事項))

- 説明員        (資料により説明)
- 教育長        この件についてご質問等がございますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 次に日程第2を議題とします。

(日程第2        平成29年度児童生徒数・学級数について(報告事項))

- 説明員        (資料により説明)
- 教育長        この件についてご質問等がございますか。
- 委員         今年度と昨年度、上目黒小学校の運動会を見学させていただきました。今年は第1学年が2クラスに増えたということだけで、運動会の雰囲気そのものが、喜びに満ちあふれていて、人数が増えるということは、運動会1つをとってみても活性化するんだと感じました。
- このデータを見ますと、上目黒は52人の入学者ですが、入学率で言うと73.2%で標準を下回っていると思います。隣接への流れというか、流出がなかった分がこういった数になったと思いました。感想です。
- 教育長        その他ご質問等がございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区立中学校発足70周年記念式典(案)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 委員 アトラクションですけれども、楽器演奏等を予定されていて、生徒全員で歌を歌うというところ、参加型を検討されているということで、素晴らしいと思いますが、生徒がここに来てよかったと思え、式典だけではなくて生徒たちの心に残るようなものがあったらいいと思います。全員合唱も1つの案だと思いますが、例えば、アスリート、2020を想定してオリンピックやパラリンピックの関係者に少しお話をいただくとか、予算の関係もあると思いますけれども、そういったところも少し同時に模索していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。
- 説明員 実は講演の謝礼も用意してございます。目黒区立の中学校の卒業生の中で著名人の方をお招きし、子どもたちの心に残るようなお話をとっていたのですが、目星をつけていた方の日程が合わず、お招きできる状況ではございませんでした。  
アスリートということで、関係者がいるかわからないですが、私どもと、中学校の校長会で連携して作業を進めていますので、こういったご意見があったとお伝えをして、日程的に可能かどうか、あるいは、予算的にお招きすることが可能かどうかも含めて検討したいと思います。
- 委員 恐らく目黒区出身者とか、そういうところに着目されると思いますが、目黒区出身者だけに限らず、子どもたちがはっと思うような方を考えて検討していただけたらと思います。
- 説明員 参加する生徒たちにとって心に残る式典にしていきたいという気持ちは私どもも共通でございます。ただ、限られた予算の中で、事務所を通じて著名な方をお願いすると相当な額もかかります。それが、例えば、卒業生ということで関係者であればご厚意でご参加いただけるのではないかと、という期待もあって作業を進めているところです。貴重なご意見いただきましたので、中学校の校長会にも話をしながら、進めていきたいと思っています。

○委員 前提のところでよくわからないのですが、各学校が周年行事を行っていると思いますが、目黒区立中学校発足 70 周年ということは、10 年前には 60 周年があったと思います。この記念式典の実施経過は、どのようになっているのでしょうか。

○説明員 戦後、新制中学校が発足いたしましたのが昭和 22 年 4 月 1 日、学校教育法の施行とともに新制中学校が発足しています。目黒区では、いわゆるナンバースクールに関しては全て創立記念日は一緒です。各小学校のようにまちまちではなく、ナンバースクールに関しては一緒に、その後の東山中学校については 10 年後、それから目黒中央中学校、そして大鳥中学校に関しては、その後ということでございます。

それぞれ学校で、周年行事を行っているわけですがけれども、中学校、ナンバースクールに関しては、過去全て同じように合同で行っているのもので、私どもと一緒に、共催で行うというものです。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第 4 を議題とします。

(日程第 4 ICT 教育推進計画検討委員会における検討状況について (報告事項) )

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 ICT 環境整備のメリット・デメリットという 5 ページにある中で、教員の ICT 活用能力をいかに充実させていくかということに尽きる気がします。

現在の体制を維持したままでこの充実が図れるかどうかということから考えますと、外の力を借りる必要があるだろうと思います。ICT 関係の企業等に実際に教員の指導に当たっていただけるものなのでしょうか。

○説明員 教員の研修、この ICT 活用能力を高めるための研修というのは非常に重要だと捉えております。一方で、その研修の時間をどう確保するかということも重要だと思っておりますし、研修の内容、委員がご指摘いただきました外部の力、外部資源の活用ということも重要な要素だと捉えておりますので、研修のあり方については今後、検討委員会の中で十分検討してまいりたいと思いま

す。

○教育長

I C T教育を、今後10年先まで進めていく方向はそのとおりだと思いますけれども、実際に子どもたちの授業の改善につながっているかどうかを第一中学校で検証すべきだと思います。

18ページで生徒のアンケートをとっておりますけれども、これはハード上のことを聞いているのであって、実際に生徒自身それぞれがI C T機器を導入したことによってどういうものを享受しているのか、また、タブレット40台を一度に動かせば作動しなくなる機器があり、その分授業がおくれたということもあったわけです。もっと細かな、生徒の意識を検討委員会の中でまとめるべきだと思います。

19ページにある生徒の学びやすさ、教師の教えやすさは、行政から見た観点、教員から見た観点を分け分けて、実際に生徒たちがどう思っているかを基本に置いておかないと、この先進まないと考えています。

ですので、ハード上の問題とソフト上の問題を整理した上で5カ年の計画をつくっていただきたいと思います。これは要望です。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成28年度目黒区立学校における不登校の状況について(報告事項))

○説明員

(資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等はございますか。

○委員

不登校になってしまって、学業がおくれる、そのおくれによってさらに不登校を続けてしまうという、悪いサイクルがあります。その学業のおくれをどうするのか。今のままで十分なのか、何かよい手だてはないか、というのが1点目の質問です。

2点目は、メンタルフレンドを確保し、活用するというのは非常に良いことだと思いますが、メンタルフレンドがどこでどのように関与したのかお伺いしたいと思います。

○説明員

1点目ですが、学業のおくれにつきましては、今年度からeラーニングの教材なども、中学生の3教科だけだったものを小学校1年生から中学校まで充実をいたしました。また、従来からのめ

ぐろエメールでの利用のほか、モデル校である中学校1校においてもインターネットを活用したeラーニングを開始することになっています。

めぐろエメールでも、これまでは受け身の状態でございましたが、今年度は中学校、小学校にめぐろエメールから相談訪問を行いまして、未然防止や、お引き受けするときの連携を強化することになりました。

さらに、めぐろ学校サポートセンターでは、小学校の勉強がおくれている中学生の放課後学習支援を継続しています。

2点目のメンタルフレンドの活用でございますが、実際に不登校解消までの効果があった事例は、28年度はございませんでした。不登校は男子のほうが多い実態が小中学生どちらにも見られます。メンタルフレンドは同性を派遣することになっておりますが、従来から募集している心理学部の学生は女性の方が多く、手を挙げてくださる方もほとんど女性でしたので、男子学生を確保するということが従来からの課題でございました。

そこで、人材確保のため、今年度はまず教育学部に募集先を拡大していくことと、謝礼を近隣区並みに引き上げることで、ただいま各大学にPRをしているという状況です。

○委員      今回まとめられた資料は、個人個人の変化が読み取れないと思います。それをどう整理し直すのかということで、例えば、中学校不登校事例総括集とか、どうして不登校になったのかというような項目も入れ、また、どういう変化があったかというようなことも書き込めると、他の学校の先生方の参考にもなると思いました。要望です。

○説明員      ただいまご指摘につきましては大変重要なことと考えております。この総括表の作成につきましても、昨年のご指摘を踏まえ、変更してございますが、ただいまのご指摘につきましても検討して改善してまいりたいと存じます。

○委員      不登校になったきっかけと考えられる状況で学業の不振が中学校ですごく大きいなと思います。先生方がいち早く気づくところではないかなと感じますし、勉強がわからないから学校に行かなくなるということは、一番避けてほしいと思います。もう1つ、メンタルフレンドの家庭への配慮というところで、メンタルフレンドの方というのは直接、不登校になった方の家庭に出向いて話をしに行く以外に、どのようなかわり方があるのでしょうか。



○説明員 学業の不振への対応ですが、学校側でもいち早く気づいて、放課後学習や土曜日学習、サポートセンターでの事業につなげているところですが、今後も連携を強化したいと存じます。

メンタルフレンドは家庭以外にも学校や、めぐろエミールでの活動などにも参加しまして、一緒に遊んだり、話したり、活動しております。また、家庭を訪ねて学校やめぐろエミールに付き添って連れてきてくれる業務も引き受けていただいています。

○委員 例えば、メンタルフレンドの方が家庭に直接行きますよね、突然行くのでしょうか。

○説明員 まず、メンタルフレンドを活用したらどうかということを学校やめぐろ学校サポートセンターで考え、どういった取り合わせが適しているかということを検討し、保護者の方がいらっしゃるときに家庭訪問ができることになりますので、保護者にご承認いただくということになります。

以上でございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 平成28年度放課後フリークラブの実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 確認ですが、ランドセルの置き場所は全部設置済みになっているのかどうかと、雨が降った場合は、体育館等の使用状況はどうなっているのでしょうか。

○説明員 1点目のランドセルの置き場でございますが、一部の学校にはランドセル置き場のラックを設置してございます。しかし、全部に設置するという状況には至っていません。

2点目の雨の場合の対応ですが、体育館を利用ということは現在には至っておりません。これにつきましては、あらかじめ体育館の確保、あるいは、体育館に子どもたちが行った場合の安全確保等の問題もございますので、引き続き検討してまいりたいと考えています。

○委員 そうすると、雨が降った場合の対応は現在どうなっているのか

しょうか。

○説明員 雨の場合につきましては、校内放送等によりまして本日は中止ということで対応させていただいてございます。

○委員 そうすると、子どもは家に帰ってもしょうがないということで、時間があまると思います。そうなりますと、例えば、どこかで補導まではいかないまでも注意を受けたとか、危険な目に遭ったとか、そういう報告は上がっていますか。

○委員 雨の場合につきましては、保護者等にも実施しないということで事前に周知してございます。今のところ補導など、危険な目に遭ったというような報告は受けていません。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 平成29年度青少年健全育成事業(国内交流事業)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 平成3年度に実施していたころも小学生の派遣人数は10人程度だったのでしょうか。

○説明員 平成3年度当時も人数につきましては同様でございまして、平成3年度から6年度までが10人、その後7年度から9年度までが11人、その後、多少増えまして、11年度から14年度までが14人、その後も13、4人で推移いたしまして、18年度は少なくて7人、19年度9人、20年度10人、21、22年度については15人ということで、おおむね10人から15人くらいまでということで推移しています。

○委員 この角田市のホームステイを公的に再開するということは大賛成です。1つは、放射能に対しての判断で、どのくらいが危険で、どのくらいは許容できるか。それを総合的・客観的に判断できるようになっていくと思っています。

また、角田市に対しても、本当に目黒区からの間接的な力強いメッセージになっていると思いますので、ぜひ、頑張ってください。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第 8 を議題とします。

( 日程第 8 目黒区緑が丘文化会館研修室等の一部臨時休室について ( 報告事項 ) )

- 説明員 ( 資料により説明 )  
○教育長 この件についてご質問等はございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第 9 を議題とします。

( 日程第 9 教育委員会名義の使用承認状況について ( 報告事項 ) )

- 説明員 ( 資料により説明 )  
○教育長 この件についてご質問等はございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布  
・ 学校統合推進課だより ( 南部・西部地区版 ) N o . 1 8 〕

- 教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

( 午前 1 1 時 1 分閉会 )